

## 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8344
担当部課名	保健所	地域保健	課	成人保健企画
事務事業名	成人歯科保健対策推進事業		事業コード	12220

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第2節	市民健康づくりの推進	年度
施策名	第2施策	保健サービスの充実	

## 2 実施根拠及び関連法令等

老人保健法第12条 保健事業実施要領
--------------------

## 3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
国において提唱・推進されている「8020運動」の本市における具体化を図るため、日頃から歯科健診を受ける機会に恵まれない成人を対象に歯科保健対策を推進する。歯の喪失の主因は、う蝕と歯周疾患であり、特に加齢と共に喪失歯数が増加している。その中でも40歳以降は生活習慣病とも言われている歯周疾患が主原因とされており、歯だけでなく全身の健康にも影響を与えるため予防と早期発見を推進する。		市内在住の当該年度40歳～50歳の者	
		対象数	83,458人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
<b>【成人歯科健康診査】</b> 実施期間 平成13年8月1日～11月30日 対象者 年度中に40歳～50歳になる市民 健診項目 歯の状況、歯周組織、口腔軟組織、歯列、顎関節、歯槽堤、粘膜 実施機関 市内の協力医療機関 費用 無料 受診者数 347人 委託料 2,154千円 需用費 115千円 <b>【高齢者よい歯のコンクール実施】</b> 実施日 平成13年9月9日 主催 相模原歯科医師会 会場 相模原市総合保健医療センター 応募者数 57名 最終選出者数 31名 入賞者数 7名 市補助金 600千円		健康教育、相談事業の実施 8020運動の推進	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～年度

## 4 評価指標

指標名	受診計画者数達成率	有所見率
指標式	受診者数 / 目標受診者数 × 100	有所見者数 / 受診者数 × 100
指標設定の意図	目標受診者数に対して実際に受診した率を把握することにより事業の達成率を表す。	事業の目的である歯周疾患予防に繋がった要所見者率を把握することにより事業目的の達成率を表す

## 5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	87	40	a 69	b 100	100	
指標	79	68	c 75	d 85	85	
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	3,308	1,988	2,869	3,818	5,337
	人員・時間数	(250H)	(250H)	(250H)	(250H)	(300H)
	人件費	1,045	1,045	1,045	1,045	1,254
	その他経費					
	合計	4,353	3,033	3,914	4,863	6,591
特定財源	0	97	147	0	538	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか																
評価 C ▼	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 78.6%														
	B:一部達成していない(100%> 80%)															
	C:達成していない (80%> )															
a	69.4	b	100.0	× 100=	69.4%	c	74.6	d	85.0	× 100=	87.8%	e		f		× 100=
理由:	受診率が低い状況にあるため、歯周疾患の予防の重要性をさらに市民に周知、啓発するようにして受診率向上を図る必要がある。															

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 B ▼	A:適応している	理由:	歯周疾患の予防の視点から、歯周疾患率が一番高い40～50歳を対象に実施している。
	B:一部適応していない		
	C:適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A:妥当である	理由:	対象者数に対する受診者数が例年低い状況となっている。費用は無料としているが、受診率が低い状況である。
	B:一部妥当でない		
	C:妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 B ▼	A:代替の可能性ない	理由:	老人保健事業として実施しており、健診は市歯科医師会に委託して実施している。
	B:代替の可能性低い		
	C:代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A:満足できる	理由:	受診率が低く、歯周疾患予防啓発などにより、受診率向上を図る。
	B:一部満足できない		
	C:満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 B ▼	A:有効である	理由:	国の保健事業実施要領では、対象は40と50歳としているが、本市では40～50歳と対象年齢拡大しており、今後より受診率の向上を図ることができれば、生活習慣病の原因にもなり全身の健康にも影響を与える歯周疾患健診は有効といえる。
	B:一部有効である		
	C:有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明:</p> <p>市民への歯周疾患の啓発や広報等による周知方法の充実により受診率向上を図る。</p>
	コスト改善余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明:</p> <p>受診者からの費用負担の徴収を検討する。</p>

7 総合評価

評価	B ▼	他自治体の類似事業との比較	<p>&lt;歯周疾患検診&gt;            川崎市、横須賀市、藤沢市、平塚市、茅ヶ崎市、逗子市、秦野市、厚木市、海老名市、座間市、南足柄市</p> <p>・費用負担有りの市町村:川崎市、平塚市、茅ヶ崎市、厚木市、南足柄市            ・費用負担無しの市町村:横須賀市、藤沢市、座間市、逗子市、秦野市、海老名市</p>	
	今後の進め方			
	<input checked="" type="checkbox"/>			継続
	<input type="checkbox"/>			見直し
	<input type="checkbox"/>			廃止
<input type="checkbox"/>	完了	説明	<p>歯周疾患は生活習慣病の原因にもなり、全身の健康にも影響を与えることから、保健予防事業の一環として、歯周疾患に対する啓発活動の充実等により受診率を向上を図るように事業継続していく。</p> <p>費用負担については受診率を高めるために無料としている。</p>	

8 二次評価における変更点

--